



Fukugin

# JOURNAL

【巻頭対談】

## 「福井県経済の活性化について」

福井県立大学 南保 勝 教授 × 株式会社福井銀行 頭取 伊東 忠昭



【寄稿】

## 「舞若道の全線開通の効果と今後の課題」

福井県立大学 江川 誠一 講師

【フォーカス】

## 伝統工芸「越前和紙」



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

巻頭対談	01
「福井県経済の活性化について」 福井県立大学 南保 勝 教授 株式会社福井銀行 頭取 伊東 忠昭	
寄稿	08
「舞若道の全線開通の効果と今後の課題」 福井県立大学 江川 誠一 講師	
フォーカス	10
伝統工芸「越前和紙」	
健康ライフ	13
「ロコモティブシンドローム」	
海外ビジネスレポート	14
「福井県上海事務所より」	
主要経済指標	16

## 表紙 三方五湖



### ◀ 梅丈岳から望む三方五湖

水鳥や希少生物の重要な生息地として、2005年11月にラムサール条約登録湿地として認定されました。また、三方五湖の1つである水月湖の年縞が、考古学や地質学における「世界標準のものさし」となり、「奇跡」の湖として、世界でも脚光を浴びています。手前の湖の真ん中に写っている筏（いかだ）の場所で、年縞のボーリング調査（7万年のタイムトンネルを掘っている？）をしているそうです。

福井県 自然環境 年縞 検索

## 裏表紙 明通寺



### ◀ 明通寺の三重塔（国宝）

小浜市は「若狭の小京都」「海のある奈良」と言われ、たくさんの歴史ある寺院があります。現在、小浜市などで「平成26年度 みほとけの里 若狭の秘仏特別公開」（～11月24日）が行われており、明通寺では通常非公開の国宝三重塔内陣も特別公開されています。

### ▼ 明通寺の本堂（国宝）



福井県 秘仏 検索

7月20日に舞鶴若狭自動車道が全線開通しました。  
この機会に若狭地方を訪れてみてはいかがでしょうか。



# ～ 対 談 ～ Discussion 「福井県経済の活性化について」

福井県立大学  
地域経済研究所 教授

株式会社福井銀行  
頭取

南保 勝



伊東 忠昭

本日は、福井県立大学 南保教授（以下、南保）と伊東頭取（以下、伊東）に「福井県経済の活性化について」と題し、対談形式でご意見をお伺いしたいと思います。本日はよろしくお願い致します。

## 福井県経済の現状認識



**南保** まずは現状認識についてですが、4月の消費税引上げの影響は、当初心配していたよりはソフトランディングしたように見えたのですが、ここに来て業種間の格差や、各企業の事情により、かなり回復に差があるように感じています。

**伊東** 消費税引上げについては、かなり関心をお持ちになっている企業経営者の方が多く、「景気は相当落ち込むだろう」と言われている反面、自社の業績には、ある程度織り込まれていて、4月あたりは、「想定内だよ」とおっしゃっていました。実際にそういう数字だったと思いますし、そんなに悲観している見方もありませんでした。ただここに来て、9月頃には回復すると思っていたのが、ちょっと遅れてきている感じはしています。

**南保** 私もここに来て少し景気が足踏みしているように感じていますが、いずれ、消費税は更に上がっていかざるを得ないと思います。そうした環境に加え、他の外部経済環境を見ましても、経済のグローバル化が進む中、福井経済にとっても大きなターニングポイントと言いますか、変革の時期に来ているような感じを受けています。

以前に、勝ち組・負け組や、業種間、企業間格差や、規模間格差などがクローズアップされた時期がありましたが、再びそういう時代になりつつあるように感じております。実際に統計を見ましても、日本全体の企業のうち、利益を出している企業が30%に満たないという現状があります。そうした現実を考えますと、各企業が、これからの流れを先取りして、うまく時流に乗っていくことが重要ですが、現実的には簡単なことではないと思います。

**伊東** 外部環境が大きく変わっている中で、短期的には何とか対応している企業が多く、中長期的には、対応できている企業は、まだまだ少ないような気がします。ただ一方で、進んで変化を先取りしている企業は、将来展望を描きながら、がんばっていらっしゃいますし、そうした企業が増えていくために、営業店や本部

にも、そのお手伝いを一生懸命にやるように言っているところですよ。

**南保** 福井というのは小規模企業が多いですし、かつ、地域完結型構造という、地域内で受注し、生産し、出荷するという企業も多いわけですが、そういう構造から脱却していく方法を考えるような、トップのイニシアティブが求められている気がします。そうした意味では、どれだけの企業が変化についていけるのかを心配しています。

**伊東** 小規模企業は、組織的にも、技術的にも、人材的にも十分に揃っているわけではないですから、どんどん先を見越して企業経営を行うことはかなり難しい話だと思います。ですから、地域の産業を牽引していくような企業と、うまく足並みを揃えていくことが大切で、そうした企業と出会う機会や、関係性を強めることも必要だと思います。逆に、地域の中核的な企業群が、地域の小規模企業を引っ張っていくようにしないといけないでしょうね。ところがいろいろな切り口はあると思いますが、例えば技術レベルが離れ過ぎてしまうと、なかなか一緒にやっていけなくて、もしかしたら地域内でできる仕事も他の地域に発注するといった現象が起きていると思います。

**南保** 私の専門分野は産業集積論ですが、昨今は産地内の企業も二極化しており、なかなか産地全体が成長するということが困難になっていると感じています。また、以前はいわゆる問屋が産地と市場の間のコンバーター機能を果たしていましたが、その機能も低下している気がします。グローバル化していく企業はもちろんです、内需型企業も、私は「内なるグローバル化」と言っているんですが、技術であれ、ノウハウであれ、商品そのものであれ、外からいいものはどんどん取り込み、地域内にいながらグローバル化していく必要があるのではないかと思います。一方で、今の頭取のお話では、もっとリーダーシップをとれる企業が、熱意を持って、地域全体を引っ張ってほしいというお考えが強いのかなと感じられます。

そういう意味では、眼鏡産業の技術を使って医療機器分野への進出を手掛けている企業が話題となっております。そうした企業が市場を転換する事によって、従来の眼鏡産地自体も、下請加工、部分加工業者も、それに追従されていく可能性がありますから、その役割は大きいですね。

**伊東** ご指摘の企業のケースでは、自社だけで完結せずに、技術毎に分業化を進めながら市場転換を図っている、産地を維持、発展させるという面から考え

ても、非常に望ましい形のひとつとして注視しています。また、産官学連携という面でも、地元の大学とも連携しながら、ともに発展していくことを指向されております。我々も産官学連携を進めておりますが、少しでも、産地が発展するお手伝いをできればと考えております。





**南保** 福井県をめぐる環境の変化として、舞鶴若狭自動車道の全線開通や、北陸新幹線が来年、金沢まで、その後、敦賀まで延伸されることや、或いは、中部縦貫道の開通区間が拡大するなど、高速交通体系が大きく変化しております。その影響も受けていると思いますが、観光施設でいえば、恐竜博物館の入込客数もどんどん伸びて年間 100 万人に近づいています。

こうした良い変化も見られますが、逆に一般的にはストロー効果と呼ばれるような悪影響も懸念されます。社会環境が大きく変化することで、地域にとっても企業にとっても、チャンスとなるケースもあればピンチもあるわけです。そうした意味で、今後の福井県の経済もいろんな発展の可能性がありますし、またそのためには克服すべき課題も多いと思っています。

**伊東** 舞鶴若狭自動車道がひとつの典型的な例だと思います。鉄道は主に人を動かすけれども、道路は人もモノも動かすという事を考えると、基本は、物流が変わるという認識を持たないといけないし、例えば敦賀港へのアクセスが変わることで、海外とのビジネスに利用しようだとか、中部縦貫道と繋がったことで、国内の物流拠点としての福井県へ進出しようだとか、いろいろな可能性が広がるでしょう。

国内全体という視野で見ても、太平洋側に産業拠点が集中していますが、危機管理面から考えても、生産拠点を分散させるという事が重要視されている時期に来ていると思うので、それを我々が積極的に呼び込んでいかなくてはいけないでしょう。地震や津波に対する安全性が高いということや、物流面での優位性をアピールして、「拠点をここに置いて下さい」というような提案は、進出企業側にとっても受け入れやすいのではないかと思います。また、東京などで企業誘致の話をする際に、「福井県は優秀な人を雇いやすいですよ」と言っています。福井県の世帯主の所得は全国で真ん中より下です。しかし、世帯の所得は 1 位です。福井県は 3 世代同居の家庭も多く、一人一人の給与は

それほど高くなくても世帯の働き手が多いという特徴があります。しかも、お年寄りには年金をもらっている人もいますから、世帯の所得にすると 1 位になるということなんです。そういう環境なので、パートタイマーで働こうという人の中には、それほど時給が高くなくても構わないという人もいて、東京などと比べると、企業の労務費がかなり抑制される訳です。



**南保** 福井県は、地理的には日本の中心にあり、よく「へそ」に例えられますが、そこがやっと生かされる時代が来たのではないのでしょうか。国内的な物流や人の流れがどう変わるのかという視点と、アジア大陸に近いという地域のメリットをどう生かせるのかというグローバルな視点の両方から福井の地の利を整理した上で、それを他の地域の企業や人たちに訴えていくという事から始めることが大事だと思います。

福井県の県民性として、まじめ、おとなしい、控えめなどと言われますが、経済・社会環境の変化をチャンスにとらえ、もっと前向きに行動し、他の地域の人に福井県の良さを PR していくことが大事じゃないかと思うんです。



## 福井県の観光の課題



**伊東** 例えば、観光を例にとれば、いい観光資源は県内にたくさんあって、個別の施設や企業はがんばっているんだけど、もっと連携していくことが重要だと感じています。恐竜博物館にしても一乗谷朝倉氏遺跡にしても、長年かけて観光資源開発を行ってきたわけですが、地域全体としては十分生かし切っていない気がします。地元の人は知っているらっしゃると思いますけれども、あそこからは30分もかからずに河和田漆器や越前和紙の産地に行けるのですが、一連の観光ルートとしてのイメージが十分できていないと思います。

いわゆる年配の方が一乗谷朝倉氏遺跡に行った後に、漆器だとか和紙の産地を見学いただいて、越前市や若狭の方面で泊まるようなルートを作ってみたり、或いは、逆のルートであら温泉にお泊りいただいたりすれば、県内の観光全体に寄与するようになるし、地域活性化につながるはずです。折に触れ、こうした話はしていますが、なかなか思ったほどにはダイナミックな動きになっていないと感じています。福井県全体が、今以上に活気ある地域になってもらいたいと思っていますし、地域内で元気のある人や企業を巻き込みながら、我々は地元の金融機関として、更に地域支援を強化していきたいと思っています。

**南保** 大野市や勝山市には恐竜博物館以外にも観光資源がたくさんあります。この地域なども連携を強化しながら、美濃、郡上八幡方面とも広域に連携していくと非常に面白いのではないかと感じています。私たちの考え方も少し柔軟に、行政単位、官民、企業間を問わず、少しアクティブかつポジティブに行動していくことが重要だと思います。

## 少子化問題



**南保** それから、これはもう一つ大きな日本全体としてのテーマですが、これからの人口減少の過程で、特

に少子高齢化により労働力人口が足りなくなり、経済が立ちいかなくなる地域が出てくるという事が、クローズアップされています。これも地域にとっては放置できない問題ですね。

**伊東** 国も福井県も少子化対策に注力するような発言をするようになってきました。そういう雰囲気や制度を作っていく事は大事です。ただし、そこに活気を吹き込んでいくのは、やはり経済です。そういう意味では、どちらが先か分かりませんが、地域経済に展望が見えてくると、県外に行っていた人が戻ってきたり、県内の人の動きも活発になってくるのではないのでしょうか。今まさに80万人を下回ってきた福井県の人口が、将来、急に反転し100万人になるような事を期待しているわけではないですが、少なくとも今、十数年後には60万人になるのではないかとされている状況を、何とか80万人で歯止めをかけようという意識を持つことが重要だと思っています。

観光産業の発展により人の交流を増やすことや、福井県の存在価値を高めることにより県外企業に進出してもらったり、地場の多くの企業が発展していくことが相乗効果となって表れてくると、県外に行っていた人も戻ってくるのではないのでしょうか。

## 事業承継、技術承継



**南保** ところで次に、事業や技術の承継の問題ですが、福井県内にもグローバル型の企業がどんどん増えている一方で、建設業を中心に小売業、サービス業の内需主導型の企業群もたくさんあります。グローバル型の企業が増える事によって、地域内の経済のキャパシティーが縮小していくことから、内需型企業はどうしても先細りしていきがちです。

私が行った調査では、例えば生活衛生組合に所属する8千事業所位の内の3分の1は、自分の代でやめてしまおうと考えているようです。このままだと、地域内での事業承継や技術の承継が円滑に行えない企業が、相当増加するのではないかと危惧しています。

**伊東** 例えば、繊維産業で考えた場合に、機屋さんの工程は糸を調達し、撚糸加工、整経するという前工程がありますが、この工程が全て機械化されてきています。もともとは分業化されていて、各工程の下請け業者に出しながら段階を進めていくという流れだったものが、一つの工場の中で一貫生産できるようになっています。特に、いわゆる上位企業はみんなそうなってきました。これまで行っていた行程に変革が起きると、周辺にあった産業がなくなるものもあれば、逆に増えていくこともあります。

地域を牽引するような企業は、「われわれはこういう風に変化するのだから、こういうものができれば一度やってみてくれないか」とか、「こういう方向へ変換してくれないか」ということや、「この仕事はなくなるから、別の仕事をやってくれないか」というような話を前もっていろいろ示唆していくというような事が大事ではないかと思っています。

或いは、福井県も企業誘致には力を入れていますが、県内には全くないような産業を誘致できたとして、その場合、何が重要かといえば、誘致する福井県や経済団体などの担当部署の人たちが、地場の企業などに、誘致企業サイドのニーズを伝えることだと思います。

さまざまな変化を地域経済全体として認識し、業種転換や経営方針の変更なども含めた対応を行う事がこれから必要になると思います。

最も典型的な例は原子力発電所（以下、原発）です。原発については、多様な考え方があることは存じていますが、現実的には、これから間違いなく廃炉という作業が出てくるはずで、廃炉が行われる中で、誰が何を担うのが問題です。福井県内には15基の原発があるわけですから、これらを廃炉にしていくという過程において、おそらく百年以上の期間を有するわけ

です。そうすると廃炉ビジネスという新産業が生まれ、百年間必要とされる企業が出来上がるはずで、参画可能な分野については、誰もまだ分かっていません。今後、現地ではできない作業がいっぱい出てくるわけですから、地域社会に貢献していくためにも、地域の産業を育成していく事が必要になってくると思います。

**南保** 福井県内にもグローバル・ニッチトップ企業は何社もあります。地域として、そうした企業がどんどん育ててもらおうよう支援していく事が重要ですが、原発を推進するかどうかは別として、福井県の特徴を生かし、地域内の産業をリードする役割を担ってもらうことも重要だと思います。



## 今後の施策



**南保** これまでの色々な話をお聞きして、頭取の福井県経済に対する熱い思いが非常に伝わってきました。

最後に、地域金融機関として、これから行っていく施策について教えていただけますでしょうか。

**伊東** われわれのやるべき一番大事な役割は、企業が持っている情報を「つなぐ」ことや、経営者の方に対する「気づき」や「後押し」など、いろいろな方法により、経営者の方が前向きになり、動ける状態になっていただく事だと思っています。そういう意味では、我々は、もっと県内の経済や産業の事を分かっていないといけないし、その上で行動していかないとはいけません。更には、これから国や福井県がやっている施策の中で我々がどう携わっていくべきか、というような事を考えながら、県内の産業界に関わっていく必要があります。昔の高度成長期のように企業が活発に動いていて、そこから資金需要が出てきたら対応するというビジネスモデルではなく、企業経営者の方が前向きに行動していただくことをサポートするという構図を作り、結果としてご融資につながれば良いと思っています。

具体的な支援策のことを申し上げますと、例えば取引先の海外進出のサポートも行っていますが、アジア進出企業支援のために、11月にはタイに駐在員事務所を開設することになっています。ここでは、取引先が現地でスムーズに活動できるようにするために、我々と提携している内外金融機関、企業、ジェトロをはじめ

とする支援機関などを活用し、情報提供、企業紹介、サービスメニューの提供などを行うことにしています。そのために、福井県にもご協力いただくことになりました。福井県には上海のサポートセンターもありますけど、同様の機能提供を我々と協力してやることになっております。

また、これまで取引の少なかった農業分野の事業者の支援として「福銀6次産業化ファンド」を作り、川上から川下をしっかりとつないでいくお手伝いをやっていこうと思っています。農業ビジネスにどのように関与していこうかということは、頭取になってからずっと課題としていました。しかしながら、福井県の農業は稲作がほとんどなので、ビジネスとしては、なかなか展開が難しいと思っています。2次産業から3次産業へ展開していくのに、流通経路や用途が限られてしまうからです。最近、大規模農園や植物工場の進出などが増加していますが、そういう意味では県内の農業従事者にとっては大きな刺激になると思います。ファンドを立ち上げたのも、金融ビジネスとして成長分野ではあるけれども、これまで参入しにくかった農業分野へ参入し、支援していきたいという思いです。

また、新創業などの新たなファンドの展開も考えら





れます。こうしたファンドは、国が地域振興を行って  
いくためのツールとして用意するという側面もあるわ  
けですから、今後もどんどん出てくると思います。た  
だし、私はこれだけでは不十分だと思っていて、我々  
が地元のみなさまとリレーションをしっかりと図りなが  
ら融資していくという事をやらないといけないと思  
います。

ファンドからの資金だけで、事業が円滑に発展して  
いくケースは少なく、出資の後に追いかけて融資する  
ことが必要なケースや、そうではなくて、ビジネスモ  
デルを作る時に我々が関与することにより、最初から  
融資するようなケースもあるだろうと思っています。  
例えば補助金なども有効活用しながら、どういうビジ  
ネスモデルにするかというようなコーディネートは  
我々金融機関が果たす役割だと思っています。

**南保** 補助金といえば、一般の企業にとっては、認定  
支援機関の知名度が低いことが問題です。金融機関、  
商工会議所、税理士事務所などが行っておりますが、  
機動力があるのは、やはり金融機関で、行動も一番早  
いというふうに感じています。しかしながら、特  
に小規模事業所の経営者の中には知らない方も多いの  
で、金融機関の各支店からPRしていただけるといい  
と思います。「そんな補助金があったのなら、うちも  
申請したのに」というような話は、申請期限が終わっ  
た後に聞きますので、認定支援機関としての積極的な  
取り組みを期待したいと思います。

**伊東** おっしゃられたように、本当に必要なところに  
補助金が行きわたっているかという点、まだまだ十分  
だとは言えないと思います。今後もいろいろな種類の  
ものが出てくるとは思いますけど、積極的に「こんな補  
助金が出ています。御社に該当しそうですがいかがで  
すか」というに、支店の行員が取引先に直接話をしな  
いとダメでしょうね。ポスターやパンフレットを出す  
だけでは、とても分かって貰えないですからね。

最後となりますが、県内の行政も各支援機関も究極  
の目的は同じで、地域をよくしたいという思いは一致

しているので、我々も地域経済の活性化に向けた支援  
を強化していきたいと思っています。また、支援機関  
同士で連携したり、協力したりしながら、福井県の経  
済が良い方向に向かっていけばいいと思っています。

**長時間にわたり、多くの貴重なご意見を賜り、あり  
がとうございました。**

#### ■プロフィール

なんぼ まさる  
南保 勝

1953年5月17日生

公立大学法人福井県立大学 地域経済研究所教授 経済学博士

職歴 2001 福井県立大学 助手  
2004 福井県立大学 助教授  
2007 福井県立大学 准教授  
2009 現職

専門 地域研究、地場産業論、地域経済論

著書 「地場産業と地域経済」(単著 晃洋書房 2008)  
「地方圏の時代」(単著 晃洋書房 2013)  
その他多数の著書あり。

論文・学会・報告書・ディスカッションペーパーなど多  
数発表。日本銀行金融広報アドバイザー、福井市行政評  
価(外部評価)委員会委員長など多岐分野に渡り社会・  
地域活動を行っており、テレビなどコメンテーターとし  
ても活躍中。

●福井県立大学 地域経済研究所棟



いとう ただあき  
伊東 忠昭

1949年2月16日生

株式会社福井銀行 取締役兼代表執行役頭取

職歴 1971 福井銀行入行  
1999 取締役経営管理グループマネージャー  
2004 取締役経営企画グループマネージャー  
2006 常務取締役  
2007 常務執行役  
2008 取締役兼代表執行役専務  
2010 現職

福井県銀行協会代表理事、福井商工会議所副会頭など公  
職多数。

# 舞若道の全線開通の効果と 今後の課題

江川 誠一

福井県立大学 講師



写真：三方五湖パーキングエリア

**嶺南**にとって、長年の悲願であった舞鶴若狭自動車道（以下、舞若道）が、7月20日に全線開通した。地元  
の期待も大きく、観光はもちろんのこと、地域経済や人々の暮らしに大きな効果がもたらされる可能性  
がある。本コラムでは、直接的な効果と間接的な効果を整理した上で、実際に発現した整備効果を紹介し、これらから  
導かれる今後の課題を考察する。

## 1. 舞若道の直接的な効果

まず、直接的な効果として、今回の小浜ICから敦賀JCTまでの開通によって、小浜から敦賀が約1時間かかっていたものが30分に、金津ICから大飯高浜ICまでが1時間40分ほどで結ばれる。嶺南の地域内移動が1時間以内になり、県内の主要都市間の移動が2時間みておけば余裕があるという県土構造になった。2時間を切るということは、ノンストップ、もしくはワンストップで行ける距離になるということであり、高速道路で目的地近くまで行けるということは、運転ストレスの低減や定時性の確保にもつながる。



また、これまでは、嶺南を横に貫く道路は国道27号と梅街道だけであり、近距離の移動と広域的な移動を同じ道路でさばっていた。これが、舞若道の開通によって明確に分担され、一般道における交通の円滑化も期待される。

## 2. 舞若道の間接的な効果

次に間接的な効果であるが、舞若道の全線開通によって、福井県を含めた関西と中京地域を結ぶ大きなループ状になった高速道路が浮き上がってくる。環状化によって人や物の流れが大きく変わり、それに伴ってこの嶺南にも少なくない影響が生じる。

例えば、この環状の高速道路は、観光面において周遊ルートとしてかなり有望になり、団体旅行、個人旅行の双方に強く訴求するものとなる。また、物流面でも大きな効果を生む。環状になるということは、物流ルートが2ルートでき、災害や事故等の際にも迂回が可能となるという利点と、複数箇所を回って効率的に集配ができるという2つの利点がある。これらを生かした物流拠点あるいは生産拠点の嶺南への立地も期待したい。さらには、東日本から西日本への広域的な物流を考えた場合、



日本海側における高速ネットワークの充実・強化にも資するなど、大きな意義がある。

### 3. 実際の整備効果

開通1ヶ月後の整備効果を、国土交通省近畿地方整備局等がまとめている<sup>1</sup>。それによれば、福井県嶺南地域の主要観光地<sup>2</sup>では、前年同期と比べて来場者が約20%増加した。なかでも、今回の開通区間沿線の観光地における増加率が高くなっているが、既開通区間沿線にある「道の駅若狭おばま」においても嶺北や東海地方からの来場者が増えるなど、嶺南全域に整備効果があらわれている。また、嶺北や京都府北部の主要な観光地においても来場者数が増加しており、舞若道を活用したより広域的な人の流れが活発化している。

物流面でも効果があらわれている。福井市と京都府北部・兵庫方面との所要時間は、今回の舞若道全線開通により約30分短縮された。名神経由と比べて渋滞に巻き込まれることがないため、安定輸送が可能になったとの声が聞かれている。

舞若道を生かして、様々なレベルでの地域間交流も進みつつある。勝山市と小浜市の間で青少年交流事業が開始されたほか、京丹後市と愛知県の間でも交流推進に向けた文化的な関連調査が始まっている。教育旅行や文化交流を契機に、県内外における新たな交流が生まれつつある。

全線開通後1ヶ月間の、小浜ICから敦賀JCT間の1日当たり利用台数は、約9,100台（平日：約7,100台、休日：約12,200台）であった。また、既開通区間であった小浜西ICから小浜IC間の1日当たり利用台数も、約2倍に増加している。一方で、国道27号の国吉城地点（美浜町）の交通量は約22%減少した。舞若道によって、広域的な交流が活性化するとともに、一般道における混雑緩和にも役立っていることがみとれる。

以上のように、想定されていた直接的な効果、あるいは間接的な効果は、開通直後の御祝儀という一面はあるものの既に一部で発現しており、舞若道の全線開通によって、人や物の流れが大きく変わりつつあることがうかがわれる。

### 4. 今後の課題

舞若道で新たなつながりが生まれ、あるいは、これまでのつながりが太くなることにより、期待される効果は

観光分野から物流分野、そして生活分野にまで及ぶ。その整備効果が既にあらわれつつあることは前述の通りである。しかしながらこの期待を確かなものにするためには、受け身で待つだけではなく、この道路整備を生かして地域自らが環境変化に対応していかねばならない。

今は、高度経済成長時代ではなく低成長時代にあり、今後は人口減少と高齢化がますます進んでいく。本県あるいは嶺南にとって、この問題は避けて通れないものである。また、新幹線や高速道路ができれば、それだけでバラ色の未来が描けた時代ではない。さらには、成功事例の模倣をすれば、同じような成果が導かれるという時代でもない。

この高速道路を生かした自立的で個性的なまちづくりを進めていくとともに、「誰をつなぐか」、「なぜつなぐのか」、「どこをつなぐのか」、「なにをつなぐのか」、「いつつなぐのか」、「どのようにつなぐのか」ということを、行政が、企業が、地域が、住民が、それぞれ主体的かつ連携を取りながら、戦略的に考えていく必要がある。

注1：国土交通省近畿地方整備局、中日本高速道路株式会社名古屋支社・金沢支社、西日本高速道路株式会社関西支社、福井県、京都府・京都府道路公社「舞鶴若狭自動車道 小浜IC 敦賀 JIC 間 開通1ヶ月後の整備効果についてお知らせします」2014年8月29日

注2：レインボーライン、福井県海浜自然センター、若狭歴史博物館、道の駅若狭おばま、道の駅うみんぴあ大飯、福井県子ども家族館、道の駅シーサイド高浜

#### profile

えがわ せいいち  
江川 誠一

公立大学法人福井県立大学 地域経済研究所 講師  
1967年1月5日、福井県坂井市坂井町生まれ  
京都大学工学部卒

シンクタンクやコンサルタント会社勤務を経て、2010年より現職。高速交通体系とまちづくりのほか、観光振興・地域振興、政策評価・事業効果、協働のまちづくり、防災まちづくり等が専門。

あわら市、敦賀市、鯖江市で、北陸新幹線の開業を見据えたまちづくりに関する委員を務めているほか、福井テレビ「タイムリーふくい」でコメンテーターとしても活躍中。





# 越前和紙

伝統的工芸品産業は、私たちの日常生活と密接にかかわりながら、生活用品として発展してきました。その後、戦後の時代の変化、大量生産、大量消費、生活スタイルの多様化・高度化の中で、その市場が縮小していきます。福井県の伝統的工芸品産業は、現在、経済産業大臣の指定7品目、その他24品目とあわせて、合計31品目があります。福井県内の経済産業大臣指定伝統的工芸品について、シリーズで歴史～現状～将来の展望についてレポートしていきます。今回は、日本最古と言われる「越前和紙」です。

## 越前和紙の歴史について

越前和紙は、およそ1,500年の歴史を有し、言い伝えによれば、村里の岡(おか)太(もと)川に女神が現れ、里の民に対し、「この地は耕作をするには不向き。清らかな水で紙を漉(す)き、生計を立てるが良い」と紙漉きの技術が伝えられたとされています。この女神は、川上御前と呼ばれ、日本で唯一の紙祖神として、地元の岡太神社に祀られています。



●岡太神社

仏教が広まった奈良時代には、多くの寺院が仏教の経を写すための写経用紙として重用され、約1,300年前の越前和紙が、奈良市の正倉院にも現存しています。その後、公家や武士が紙を大量に使いだす頃には、紙漉きの技術、生産量も向上して「越前奉書」等の高品質の紙が作られるようになり、産地としても幕府や領主の保護を受けて発展しました。

明治以降、「太政官札」を漉くことになり、従来の越前奉書等に加え、「局紙」と呼ばれる印刷適性と耐久力に優れた紙が開発され、紙幣や株券といった用途にも広がりを見せました。この「局紙」は、最盛期には株券用途の全国シェア99%を占めたこともあります。以降、その時々市場が要請する新たな需要に独自の伝統技術を受け継ぎながら、さらに新しい技



●卯立の工芸館での紙漉き見学

術を取り入れ、それぞれに合った製品を開発するなど高級和紙産地として成長発展を続けています。特に、戦後は住宅需要の増加に伴って、襖紙や壁紙などの内装用紙が大幅に生産量を伸ばし、現在でも当産地の主力製品としてその地位を維持しています。

こうした中で、1976(昭和51)年には、通産省(現経済産業省)から越前和紙が「伝統的工芸品」に指定されました。

※福井県和紙工業組合の石川理事長に伺い、組合の現状・展望から越前和紙の将来の展望を探ります※

## 1. 越前和紙の産地とシステム

### ～越前和紙の現状～

#### (1) 産地の規模縮小

ライフスタイルの変化による和紙需要の減少傾向に加えて、これまで産地を支えてきた住関連分野の需要が大幅に落ち込み、福井県産地の生産額は平成4年の93億円（ピーク）から平成22年には約32億円と3分の1に減少しています。産地の主力製品である襖・壁紙類は、手漉き、機械漉きのいずれも大きく減少しており、生産額に占めるウエイトが高いこれら製品の落ち込みは、産地に大きなダメージを与えています。

組合員全体の生産量の減少により、組合員事業所も平成4年の90事業所から平成25年には60事業所と3分の2に減少しています。手漉き事業所の減少の中、経営者の高齢化も問題となってきています。今後の担い手を確保するため、組合としても様々な手を打っています。最近では、若い人など新しい人材を積極的に受け入れしています。

#### (2) 流通システムの特徴

越前和紙生産者の主な販売先として、取引高全体の7割程度を問屋に依存していると言われています。特に、襖・壁紙は産地問屋が独占しています。こうした流通システムが現在もある要因としては、小規模零細の生産者が多いだけに問屋がもつ機能を肩代わりするだけの能力を生産者が持ち合わせていないことが挙げられます。一方で、このシステムに頼ることで生産者はこれまで安定した受注環境を保持できたことから、生産者自身が同システムに頼っているといった側面もあると思われます。

また、製造品の多くが半製品であり、多くの製造品は加工業者を通じて最終製品に仕上げられてエンドユーザーに流れるため、和紙に対するニーズが読み取りづらい状況にあります。

## 2. 越前和紙ブランドの確立と向上

### ～越前和紙の将来の展望～

#### (1) 福井県初、重要有形民俗文化財指定

平成26年3月には「越前和紙の製作用具および製品 2,523点」が福井県で初めて重要有形民俗文化財に指定されました（製紙用具1,931点、製品592点）。製紙用具は原料加工から紙漉き、乾燥など紙製品を完成させるまでに必要な各工程の一連の道具、製品は江戸時代からの貴重な紙がそろっています。



●出所：福井県和紙工業組合

#### (2) 地域団体商標等の管理運営

平成20年6月には「越前和紙」を地域団体商標として登録され、知的財産戦略推進事業の展開を行っていかうとしています。

#### (3) 和紙トレーサビリティ事業

和紙が料亭や旅館などで、皿や小鍋として使われるようになり、和紙は直接の食材でないものの、食材と同様に安心・安全性が求められています。そこで、食材として或いは住関連部材として使用される越前和紙のブランド力の向上を狙って、平成17年よりトレーサビリティ事業がスタートしています。また、原料調達から加工・生産に至る工程を消費者に知らせることで、消費者の信頼を獲得し、ひいては産地ブランドの認知力・イメージ、販売力等の向上を狙っているものです。

#### (4) 光の画家レンブラントが越前和紙を使用？

17世紀を代表する画家レンブラントの版画作品に越前和紙が使われたかどうか福井県と協力して調査に乗り出しています。

レンブラントは油彩の代表作「夜警」の他、版画や素描作品も数多く残しており、「光の画家」「光の魔術師」などと呼ばれています。版画紙の原料に雁皮（がんぴ）



が使われていたことが分かり、1630年代に雁皮紙（鳥の子紙）が長崎の出島から東インド会社を通じてオランダへ大量に輸出されていたこと、当時の最大の産地は越前であることから越前和紙の可能性が高いと言われています。

「巨匠が愛用していたと分かれば一層のブランド力が高まる」と期待が高まっています。

### （５）越前和紙の新たな展開

いろいろな分野の消費者に様々な情報を発信・提供することで、新たな市場分野の発掘、創造を模索しながら、越前和紙のブランド力の向上を図っています。例えば、小中学校や高校と連携して授業などで見学・体験を実施しています。また、大学生との連携事業として、大阪芸大、京都芸大、金沢美大の学生が参加し越前和紙ペーパークラフトの提案・試作開発コンテストを行い、恐竜クラフトの優秀作品を福井県和紙工業組合が商品化しています。さらには、老舗産地問屋とデザイナーが協働し製作した和紙を材料とした家具として海外の展示会にも出展しています。



●恐竜ペーパークラフト

### （６）地産地消を目指して

原材料である「楮（こうぞ）」などは、現在、非常に品薄状態にあり、栽培する事業者も高齢化の流れなどから減少傾向にあります。結果として、原材料はほとんど海外からの輸入に依存していることから、今後地元での栽培を図っていくことも検討していく予定です。あわせて首都圏など県外からの楮刈体験、紙漉き体験、民泊などを組み合わせて、農林漁業6次産業化にもつながっていくことが期待されます。

これまで産地では「今立町工芸の里（越前和紙）整備計画」の推進や、「情報化への対応」促進、「丹南伝

統的工芸品産業交流会」での越前和紙、越前漆器、越前焼、越前打刃物の交流、一体化事業など様々な事業を展開しています。

折しも、平成26年9月2日には和紙や焼き物など伝統産業が集積する丹南地方の各産地組合と行政などが連携し、振興を図る「越前ものづくりの里プロジェクト協議会」が発足しました。職人育成や観光誘客事業などにより、技の継承を行うとともに、地域のブランド力、PR力を高めようとしています。こうした様々な取組により、伝統的工芸品産業が盛り上がりつつあることに期待したいと思います。



●将来の展望について熱く語る  
福井県和紙工業組合の石川浩理事長

第22回和紙文化講演会、記念展覧会「和紙の姿展～和紙文化 Echizen 和紙を創作する～」と紙漉工房を自由に見学できる「産地見学会」についてはこちら

福井県 和紙文化 検索





ご存知ですか？

# “ロコモティブシンドローム”

保健師 表 仁美

## ロコモティブシンドロームとは

ロコモティブシンドローム(通称ロコモ)とは、骨や関節、筋肉などの“運動器”が衰え、介護が必要になったり、そうなる危険性が高くなった状態を言います。介護が必要な状態になる原因の1位は、脳卒中や認知症ではなく“運動器”の障害です。

“運動器”の機能低下は20代後半から始まるため、「まだ若いからロコモなんて関係ない」と思っている人にもロコモは忍び寄ってきます。生涯を健康で明るく過ごすために、運動器に目を向け、早めにロコモ対策を始めましょう。

## ロコモチェック



### ☑ Check!

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上がるのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない
- 2kg位の買い物をして持ち帰るのが困難である
- 家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

7つのうちどれか1つでも当てはまればロコモの心配があります!

出所：日本臨床整形外科学会

## ロコトレでロコモ予防

生活に取り入れやすいロコトレで、足腰の筋力を鍛えましょう

### 1. 開眼片脚立ち(左右1分間ずつ、1日3回)

・開眼した状態で左右どちらかの足を上げ片脚立ちをしましょう。(足は床に付かない程度に上げます。)

### 2. スクワット(深呼吸するペースで5~6回繰り返し、1日3セット)

・椅子に腰かけるように、お尻をゆっくりおろします。(膝を90度以上曲げないように気をつけます。)

最初はお尻を軽くおろすことから始めましょう。スクワットが難しい人は、椅子に腰かけた状態から、机に手をついて立ち上がる動作を繰り返しましょう。



支えが必要な人は、机に手や指をつけて行ないましょう。  
治療中の病気やケガがある場合、体調に不安があるときは、医師に相談してください。

他には、ラジオ体操やウォーキング、ストレッチ、水泳、日常生活での身体の動きを増やすこと(家事の合間やテレビを見ながらストレッチを行なう・意識して速足で歩く等の運動)も効果が期待できます。ロコトレは何歳から始めても効果が期待できるものなので、今日からロコトレを始めましょう。



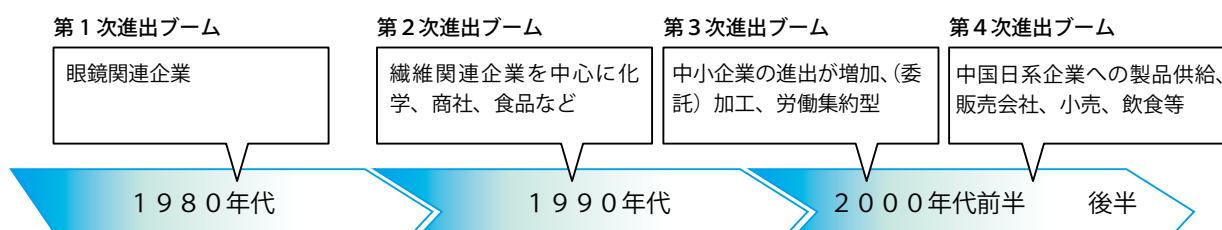
## 運動という投資を始めましょう!!

運動にはロコモ予防効果以外にも、生活習慣病・がん・認知症の予防にも効果があると言われ、更にストレス発散にも効果があると言われています。運動は健康づくりの第一歩。しかし、運動が健康づくりによいとわかっていても、始められない・続かない人が多いと思います。運動をする時には、きつくなく、お金も時間もかけない、自分にとって無理にならない程度の運動から始めることがオススメ。運動は健康へのもっとも確実な投資です。人生90年の時代、できるだけ長く健康であるためにも、今日から、無理なく長く続けていける運動を始めましょう。

## 1 福井県企業の進出動向

中国ではこれまで計4回の投資ブームが起こっており、県内企業も各時期に中国に進出しています。現在、当事務所にて把握する限り、中国大陸（香港・マカオを含む）に約90社の県内企業が進出し、約170拠点を設けて中国ビジネスを展開しています。

### 【県内企業の中国進出動向】



直近は、2000年代後半の円高、取引先の海外移転等により、取引先日系企業へのサプライヤーとして県内製造企業が進出するケースが目立っています。また、極少ですが、中国国内市場をターゲットとした非製造業（サービス業・小売業）が進出するケースも見られます。ただし、2012年後半以降、県内企業の中国への新規進出件数は徐々に減少に転じています。

### （進出形態の変化）

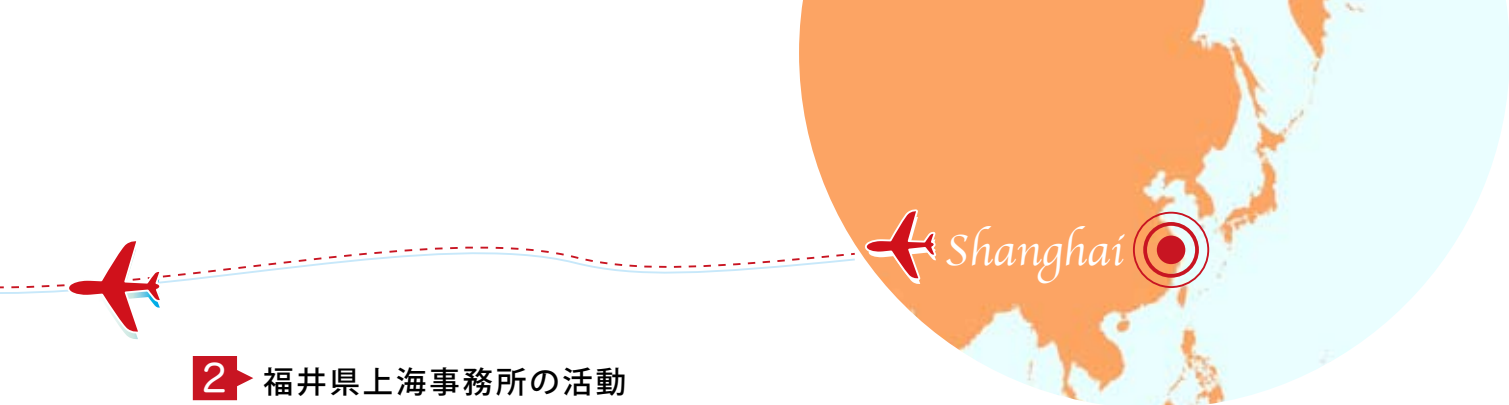
国際協力銀行におけるアンケート「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告（2013年）」によると、「中期的有望事業展開先国・地域」として従来1位となっていた中国が4位に後退し、有望事業展開の減退理由の多くは、労働コスト上昇、労働力確保困難となっております。また、中国日本商工会「中国経済と日本企業2014年白書」でも同様に、在中国日系企業の経営課題の第1位は「従業員の賃金上昇」となっており、現在、中国での製造コスト増が日系進出企業にとって1番の課題として挙げられています。

この問題は県内企業でも共通しており、人手不足・人件費高騰は深刻な問題となっております。2012年以降、県内企業の現地法人設立件数も減少しており、人件費高騰による生産拠点条件の不一致が主因として考えられます。一方、中国への進出形態にも変化が見られ、直近の進出事案では製造拠点の設立に比べ、中国国内への販売、或いは中国から調達をする商社機能を有した貿易型の企業の設立を検討や実施する比率が高まっています。

### （中国個人市場の拡大）

中国の魅力は、なんといっても13億人という市場。中国政府が実施している国民所得の増加計画により、多くの中産階級が生まれてきております。また、ボストンコンサルティングの発表によると、2013年度の中国富裕者層（家計金融資産100万ドル以上）は237.8万世帯となり、日本の124万世帯の約2倍に増加し、市場としては日本以上になってきています。現在進出している県内企業でも、この状況を好機と捉えており、従来の日本向けに輸出するビジネスモデルから、現地で製造し販売するモデルの模索や転換をしている企業もあります。

また、中国とのビジネスの距離は近くなってきており、拠点を有さず貿易等を通じた間接的な中国進出（県内製品・商品の進出）、ネットでの市場開拓も可能となっており、今後も県内企業による中国市場を舞台としたビジネスはまだまだ活況を呈していくと考えています。



## 2 ▶ 福井県上海事務所の活動

福井県上海事務所では、県内企業の中国での各種ビジネス相談及びマッチング業務を中心に活動をしております。また、福井銀行は、県内企業の海外展開を後押しすることを目的として設立された「ふくい貿易促進機構」に参画し、機構メンバーとして、福井県、福井商工会議所、福井県立大学、JETRO福井等と協働しております。福井県上海事務所には同機構のサポート拠点として「海外ビジネスサポートセンター」を併設し、県内企業の中国ビジネスのお手伝いをしております。今回、同センターにて特に頻繁に使われているメニューをご紹介します。ご利用される際には、弊行の取引店、福井県上海事務所までお問い合わせください。

《ビジネスサポートメニュー（抜粋）》

- 無料法律相談…1 企業あたり年間 3 時間までご利用頂けます。(無料)
  - ・相談例：中国に自社製品を輸出したいけど、中国での規制・注意点を知りたい。
- 企業信用調査サービス…1 企業あたり年間 2 回までご利用頂けます。(無料)
  - ・財務関連情報（2 期分）など、中国企業概要を調査いたします。

### Column

#### ■上海の街角で感じる変化のスピード

私が初めて上海に赴任したのが、4 年前の 2010 年 11 月で、研修生として 1 年間駐在しておりました。赴任した時期は上海万博が終わり、中国の経済成長は、10%台の青天井から横ばいの安定成長へ移行、日系企業が中国進出のために行列をなしていた時期です。上海の町並みは一言で「賑やかな大都会」といった印象でした。福井を中心に生活をしていた私にとっては、地下鉄が張り巡らされ、高層ビルが至る所にそびえ立つ上海はまさに「大都会」。一方、町を歩くと、クラクションは鳴りやまず、買い物の時間帯には、レジを頂点に扇形に広がった人だかり。夜は通りの歩道にフリーマーケットや炒飯等の屋台がひしめき合い、洗練された大都会の外見とはまた一味違った賑やかさも楽しみの一つでした。

2013 年 11 月、2 年ぶりに上海に赴任。上海の第一印象はというと…。

当時、耳から離れることのなかったクラクションも少なくなり、コンビニのレジでは列を作って順番を待つ人たち、ところ狭しとひしめき合っていた街角の屋台も何となく少なくなった気がします。街全体的に以前に比べて落ち着きがあり、あんなに賑やかだった上海が少しだけジェントルマンに。日本の 3 倍以上のスピードで発展していると言われる中国。日本では黒電話からポケベル、PHS・携帯電話、スマートフォンへと年月をかけて移り変わっていきましたが、中国では、公衆電話の次はスマートフォン。上海の街角ではみんなが画面をスワイプしています。中国の変化のスピードには驚くばかりです。ただ、3 年前の賑やかな光景がちょっと恋しいような気も…。





	大型小売販売額		新車登録（届出）台数				家計（福井市2人以上の世帯のうち勤労者世帯）			
	百万円	前年比	合計		内軽乗用車販売台数		消費支出		平均消費性向	
	全店ベース	既存店ベース	台数	前年比	台数	前年比	円	前年比	%	前年比ポイント
2011年	72,468	▲2.6%	35,134	▲15.9%	14,562	▲14.3%	348,419	▲4.6%	71.8%	2.8
2012年	71,585	▲1.9%	44,117	25.6%	18,965	30.2%	287,169	▲17.6%	65.2%	▲6.6
2013年	74,600	▲0.3%	44,014	▲0.2%	19,685	3.8%	328,742	14.5%	69.0%	3.8
2013年 9	5,561	▲1.0%	4,072	16.7%	1,774	18.8%	322,884	22.7%	81.2%	8.2
10	5,738	▲1.1%	3,299	22.0%	1,308	16.8%	350,952	25.3%	69.4%	8.9
11	6,430	▲0.2%	3,594	22.8%	1,569	23.0%	286,512	2.6%	80.8%	4.7
12	7,145	▲2.0%	3,059	37.7%	1,457	51.9%	374,988	20.0%	47.0%	8.4
2014年 1	7,279	▲0.1%	3,305	30.9%	1,541	28.5%	314,015	11.4%	91.8%	20.0
2	5,749	1.7%	5,133	20.5%	2,228	26.9%	291,287	3.5%	58.7%	0.7
3	6,616	9.9%	8,407	14.5%	3,680	21.3%	453,187	▲5.0%	146.2%	19.8
4	5,861	▲0.2%	2,899	▲1.6%	1,435	▲1.6%	412,153	38.7%	82.8%	16.3
5	5,767	▲2.3%	2,820	▲0.8%	1,310	▲4.2%	297,517	▲10.6%	85.2%	▲15.4
6	6,236	▲1.1%	3,465	▲3.9%	1,623	▲4.0%	303,015	6.1%	41.3%	▲3.6
7	6,117	▲1.4%	3,752	3.3%	1,665	▲4.6%	279,678	▲8.4%	54.9%	▲6.6
8	6,330	2.1%	2,487	▲12.2%	1,161	▲12.4%	290,943	▲16.5%	60.2%	▲9.8
資料出所	近畿経済産業局		福井県自動車販売店協会				総務省統計局（家計調査）			

	鉱工業指数（2010=100）									
	生産						出荷		在庫	
	総合		機械工業		繊維工業		季節調整値	前年比（原）	季節調整値	前年比（原）
2011年	105.3	5.3%	110.4	10.4%	108.1	8.1%				
2012年	111.6	6.0%	137.3	24.4%	101.4	▲6.2%	111.4	5.3%	144.7	17.3%
2013年	110.9	▲0.6%	139.6	1.7%	97.3	▲4.0%	110.8	▲0.5%	154.3	6.6%
2013年 9	112.6	2.2%	146.1	5.7%	96.5	▲1.4%	118.1	4.5%	159.7	2.0%
10	110.2	0.4%	134.3	2.0%	96.4	▲2.2%	111.1	▲1.7%	159.9	2.8%
11	106.5	▲4.8%	127.9	▲11.7%	95.0	▲1.2%	105.8	▲6.7%	161.3	5.1%
12	106.6	▲4.9%	124.3	▲13.4%	94.4	▲2.8%	109.1	▲2.5%	159.7	6.6%
2014年 1	106.7	▲4.2%	123.7	▲14.2%	87.6	▲8.7%	105.4	▲5.4%	158.1	8.4%
2	106.9	▲5.3%	126.4	▲12.5%	90.1	▲8.6%	111.6	5.2%	159.5	2.8%
3	104.8	▲6.2%	127.3	▲10.8%	88.4	▲10.8%	109.1	▲1.5%	156.2	▲3.3%
4	108.3	▲4.1%	133.6	▲8.9%	89.1	▲9.7%	110.9	▲1.6%	153.7	▲5.2%
5	109.5	▲5.6%	140.4	▲6.7%	89.9	▲11.6%	110.6	▲2.5%	154.1	▲4.2%
6	112.5	5.2%	146.9	10.9%	90.8	▲7.4%	110.3	5.8%	154.8	▲4.8%
7	111.4	▲1.7%	141.3	▲2.3%	91.2	▲6.8%	115.2	0.6%	151.8	▲6.7%
8										
資料出所	福井県総合政策部政策統計・情報課									

（注）機械工業＝一般機械工業＋電子部品・デバイス工業＋電気機械工業＋輸送機械工業

	新設住宅着工戸数								織物生産	
	合計		持家		貸家		分譲住宅		総生産高	
	戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比	千㎡	前年比
2011年	4,012	5.1%	2,125	▲13.4%	1,284	21.7%	294	▲2.6%	221,955	14.7%
2012年	3,614	▲9.9%	2,376	0.3%	880	▲31.5%	352	19.7%	199,209	▲10.2%
2013年	4,439	22.8%	3,073	29.3%	925	5.1%	434	23.3%	188,966	▲4.3%
2013年 9	374	30.8%	277	39.2%	85	30.8%	12	▲42.9%	15,502	▲1.2%
10	571	91.6%	338	72.4%	115	62.0%	118	280.6%	16,907	3.9%
11	413	22.9%	279	40.9%	85	▲16.7%	45	28.6%	16,506	13.5%
12	300	▲17.1%	186	16.3%	76	▲51.9%	37	▲15.9%	16,008	7.0%
2014年 1	161	▲20.3%	102	▲26.1%	36	▲12.2%	23	0.0%	16,173	12.2%
2	235	▲25.2%	157	▲18.2%	61	▲34.4%	17	▲41.4%	16,266	7.3%
3	352	4.5%	237	▲3.7%	94	44.6%	21	▲19.2%	16,552	3.7%
4	346	▲1.1%	230	▲19.0%	86	115.0%	30	20.0%	17,199	3.0%
5	310	▲20.5%	174	▲38.7%	86	3.6%	50	117.4%	16,459	2.1%
6	336	▲8.4%	224	▲23.0%	86	91.1%	26	▲16.1%	17,081	9.2%
7	324	16.5%	181	▲22.0%	108	390.9%	34	41.7%	17,608	9.5%
8	295	▲45.7%	219	▲32.8%	61	▲65.1%	14	▲65.9%		
資料出所	国土交通省								県政策統計課	

	建築着工統計（非居住用）床面積								建築着工統計（非居住用）	
	合計		鉱工業		商業用		サービス業用		工事費予定額合計	
	㎡	前年比	㎡	前年比	㎡	前年比	㎡	前年比	万円	前年比
2011年	381,756	▲1.0%	106,245	96.4%	49,464	▲42.2%	87,671	▲25.0%	6,049,322	11.8%
2012年	378,929	▲0.7%	121,041	13.9%	59,432	20.2%	87,957	0.3%	6,239,388	3.1%
2013年	358,022	▲5.5%	70,414	▲41.8%	65,907	10.9%	73,539	▲16.4%	6,170,046	▲1.1%
2013年 9	38,424	111.5%	7,411	1829.9%	7,608	296.3%	2,508	▲19.1%	553,751	102.0%
10	38,504	40.2%	6,915	▲48.1%	7,146	352.3%	2,842	106.4%	742,537	103.2%
11	14,420	21.3%	2,616	▲30.1%	2,518	295.9%	4,254	562.6%	170,527	▲11.9%
12	36,555	28.5%	5,735	30.5%	15,491	352.2%	1,106	▲89.7%	515,359	16.0%
2014年 1	22,402	▲9.7%	10,152	▲2.0%	2,321	▲70.7%	4,687	561.1%	305,538	▲20.1%
2	10,764	▲44.2%	1,910	▲19.6%	3,628	10.7%	1,835	▲22.9%	157,534	▲50.0%
3	33,225	▲12.9%	5,470	▲58.6%	6,129	▲6.1%	7,883	1349.1%	485,728	▲32.4%
4	29,571	46.2%	3,020	30.9%	4,669	874.7%	1,163	▲88.2%	517,559	40.6%
5	22,338	53.5%	4,334	▲24.7%	1,917	88.7%	3,032	▲14.3%	485,420	117.1%
6	40,512	▲22.8%	14,658	190.3%	8,927	47.5%	8,466	▲70.2%	823,863	▲38.5%
7	51,831	46.2%	26,461	1915.3%	5,453	153.7%	3,715	▲73.0%	1,123,758	170.0%
8	26,503	5.3%	4,751	▲35.4%	4,449	▲22.3%	4,331	19.4%	398,179	▲6.3%
資料出所	国土交通省									

	企業倒産（負債額1千万円以上）				信用保証		貿易（敦賀港・福井港）			
	件数	前年比	負債額	前年比	金額		輸出	前年比	輸入	前年比
			百万円		百万円	前年比	百万円		百万円	
2011年	85	10.4%	17,954	▲3.2%	80,283	▲24.9%	113,464	37.1%	71,884	23.6%
2012年	97	14.1%	85,746	377.6%	63,348	▲21.1%	140,835	24.1%	74,140	3.1%
2013年	64	▲34.0%	8,880	▲89.6%	56,094	▲11.5%	124,055	▲11.9%	82,906	11.8%
2013年 9	6	50.0%	773	▲24.3%	8,377	10.6%	9,655	▲23.7%	5,527	▲23.0%
10	8	▲38.5%	421	▲88.0%	3,020	▲19.1%	10,087	▲11.7%	7,168	23.0%
11	8	▲27.3%	2,213	▲96.7%	3,061	▲38.2%	9,426	7.0%	6,989	▲1.7%
12	4	▲60.0%	460	▲86.3%	4,878	▲26.9%	8,998	▲13.0%	7,094	15.9%
2014年 1	6	0.0%	308	▲80.0%	2,636	▲12.6%	7,414	▲5.4%	7,493	16.2%
2	3	▲40.0%	98	▲90.9%	4,006	▲17.8%	8,262	▲16.6%	5,954	▲15.0%
3	4	▲50.0%	370	▲65.5%	7,140	▲10.8%	9,061	▲21.8%	7,228	▲6.3%
4	12	500.0%	1,895	119.8%	1,700	▲52.5%	7,852	▲25.5%	7,067	▲6.3%
5	9	0.0%	2,618	45.0%	2,692	▲38.0%	8,351	▲22.9%	6,777	14.5%
6	8	100.0%	401	▲20.4%	4,458	▲18.2%	8,154	▲33.8%	7,368	4.0%
7	4	0.0%	313	5.7%	4,656	4.9%	7,959	▲30.4%	9,727	48.3%
8	4	▲33.3%	358	▲53.4%	4,335	▲16.1%	7,675	▲32.9%	10,837	38.0%
資料出所	東京商工リサーチ				信用保証協会		大阪税関			

	眼鏡輸出実績						芦原温泉入込状況		有効求人倍率	完全失業率
	枠類合計		眼鏡枠		眼鏡		客数(人)	前年比	基調値	
	百万円	前年比	百万円	前年比	百万円	前年比			倍	
2011年	23,743	▲0.2%	13,664	▲2.8%	10,079	3.5%	703,164	▲8.5%	—	2.9%
2012年	22,181	▲6.6%	12,611	▲7.7%	9,571	▲5.0%	767,475	9.1%	—	2.6%
2013年	22,079	▲0.5%	12,881	2.1%	9,198	▲3.9%	734,957	▲4.2%	—	2.7%
2013年 9	1,697	▲0.6%	1,005	▲7.3%	692	11.2%	44,289	▲8.6%	1.29	2.6%
10	2,016	21.8%	1,140	14.9%	876	32.1%	54,094	0.3%	1.27	2.7%
11	1,958	15.0%	1,162	20.3%	796	8.0%	74,065	17.9%	1.30	2.7%
12	2,139	34.3%	1,145	21.6%	995	52.7%	77,670	1.9%	1.31	2.5%
2014年 1	1,785	11.2%	976	1.7%	809	25.3%	68,631	23.6%	1.42	2.4%
2	2,133	29.7%	1,173	25.2%	960	35.6%	62,261	3.3%	1.43	2.3%
3	2,325	12.1%	1,222	0.1%	1,103	29.3%	70,501	4.8%	1.49	2.6%
4	2,057	23.5%	1,122	15.4%	935	34.9%	46,959	▲7.8%	1.48	2.6%
5	1,865	10.4%	1,053	0.1%	812	27.2%	44,858	▲1.1%	1.51	2.7%
6	2,169	9.6%	1,132	1.5%	1,037	20.0%	43,818	▲13.7%	1.50	2.4%
7	2,047	14.3%	1,287	19.2%	760	6.9%	54,657	1.4%	1.49	2.3%
8	1,990	9.4%	1,145	4.6%	845	16.5%	—	—	1.45	2.3%
資料出所	財務省貿易統計						あわら市役所		福井労働局	県政策統計課

個人事業主様、中小企業オーナー様へ  
法人カードがお勧めです。    

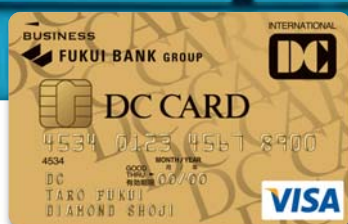
① 経理の合理化効率化が可能

② 仕事とプライベートの切り分けが明確に

③ 効率的な資金運用

# MAKE EFFICIENT

さまざまなシーンで業務の効率化が図れます!!



お申込みはお近くの福井銀行窓口まで。(福井銀行はDCカード、JCB法人カードの取次をしています。)

## 株式会社福井カード FUKUI BANK GROUP

〒910-0023 福井市順化1丁目2番3号 TEL.0776-21-7881 (9:00~17:00土日祝休み)

貸金業者登録番号:北陸財務局長(10)第00024号/包括信用購入あっせん業者登録番号:近畿(包)第10号  
日本貸金業協会会員 第002758号/一般社団法人日本クレジット協会会員 第041340000号

福井カード

検索 



ファイナンス・リースで、地元を元気に。

 **株式会社 福銀リース**



当社は、昭和58年9月に福井銀行グループの総合リース会社として発足いたしました。  
 情報関連機器・産業機械・土木建設機械・医療機器・商業設備など  
 あらゆる機械・装置・器具及び備品のファイナンス・リースを通じて、  
 地元企業の発展に貢献することを目指しております。

**会社概要**

商号／株式会社 福銀リース  
 設立／昭和58年9月16日  
 資本金／50,000千円  
 決算期／3月(年1回)  
 所在地／福井市照手1丁目2番17号  
 事業内容／コンピュータ機器、事務用機器、産業機械、工作機械  
 車輛、医療機器、商業用設備等各種物件のリース・割賦販売

**沿革**

◎昭和58年9月  
 福井銀行グループの総合リース会社として、  
 住商リース株式会社(現三井住友ファイナンス&  
 リース株式会社)との合併により  
 「福銀住商リース株式会社」設立  
 ◎平成9年4月  
 商号を「株式会社 福銀リース」に変更

お客さまにピタリとはまるピースを。

## 代金回収サービス「ふくいネット」

FUKUINET

全国のどの金融機関からでも迅速かつ正確に集金を代行処理する「ふくいネット代金回収サービス」。

お客さまの集金業務をよりスムーズに、より効率的にサポートしています。

## システムインテグレーション

System Integration

ネットワークシステムのコンサルティングをはじめ、導入計画・運用管理・セキュリティ・クラウド導入・Web 開発など、あらゆるシステムサービスをお客さまに提供しています。

## エレクトロニックバンキング

Electronic Banking

福井銀行グループの一員として、企業のお客さま向け及び個人のお客さま向けインターネットバンキングをはじめとする、エレクトロニックバンキングサービスの導入・サポートをしています。



福井ネット株式会社

〒918-8107 福井市春日町238-3 TEL: 0776-33-6618 (代)  
<http://www.fukuinet.co.jp>



福井銀行は経営革新等支援機関です

## こんな悩みを抱えている方、ご相談下さい



### 自社の経営を「見える化」したい

企業に密着した、きめ細やかな経営相談から、財務状況、財務内容、経営状況に関する調査・分析したい



### 事業計画を作りたい

「新商品の開発」「新たな生産、販売方式の導入（設備を導入したい）」「新サービスの提供」「資金調達」など



### 取引先を増やしたい・販売先を拡大したい



### 専門的課題を解決したい

海外展開、技術的課題解決、事業承継・M&Aなど



### 国県市町の各種施策について知りたい

補助金情報、税制情報、セミナーなど



#### 経営革新等支援機関とは...

中小企業が安心して経営相談等が受けられるために、専門的知識や実務経験が一定レベルの者に対し、国が認定することで、公的な支援機関として位置づけられています。福井銀行は平成24年11月5日に認定を受けました。

#### お問い合わせ・ご相談は

福井銀行 各営業店 もしくは  
営業グループ TEL (0776)25-8021 まで

## 編集後記

本誌では、巻頭企画として「福井県経済の活性化について考える」と題して、福井県立大学地域経済研究所の南保教授と弊行の伊東頭取の対談を企画させていただきました。また、同学の江川講師より「舞若道の全線開通の効果と今後の課題」に関する寄稿をいただきました。みなさま方の将来展望を考える上で、少しでもご参考になりましたら幸いです。

また、初回の伝統工芸の紹介として「越前和紙」を取り上げさせていただきました。「産地内で、原料の木の栽培、収穫、紙漉まで一貫生産する越前和紙」を作りあげたいという、組合での独自の取り組みをお聞きし、ちょうど弊行が農林漁業支援「福銀6次産業化ファンド」を立ち上げたこともあり、是非タイアップして「日本最高品質の越前和紙を海外に売り込みたい」と勝手にワクワクした気分させていただきました。また、「越前和紙」はクオリティ、ストーリー性に裏付けされた素材であることも再確認できました。

地域振興室では、今後とも福井県立地域経済研究所をはじめ、各種機関の方々と連携しながら、福井県の地元金融機関として地域のみなさまへ、さまざまな情報発信を行っていきたくと考えております。

次号は、平成27年1月の発行を予定しておりますので、よろしくお願い致します。

(地域振興室)





## 福銀ジャーナル

2014年10月  
臨時号

発行：株式会社 福井銀行 営業グループ

法人営業チーム 地域振興室

〒910-0023

福井県福井県福井市順化1丁目3番3号（福銀センタービル）

Tel (0776)25-8021 Fax (0776)21-9546

URL <http://www.fukuibank.co.jp>